事業番号	04 07 15	事業改善シート(25年度実施事業分)	口予算要	求	口当初予算案	〖 □補正予算案 ■点検	
事業名	保育対策等促進事業				部局	県民文化部	
尹 禾 石		休月刈泉寺促進争来				こども・家庭課	
総合5か年 計画	プロジェクト 5-1-2 雇用・社会参加促進プロジェクト 7-2-3 活動人口増加プロジェクト			当課	E-mail	kodomo-katei@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-2 子育て先進県の実現					
		3 子育て支援体制の充実		517	実施期間	S46 ∼	

## 1 事業の概要

延長保育、休日保育、病児・病後児保育等多様な保育サービスの提供を行う市町村への補助を通じて、地域における保育環境の充実を図り、仕事と家庭の両立を支援するとともに行っての負担感を緩和し、安心して子育てができる環境整備を行う。 目指す姿 目標(H29年度) 病児・病後児保育を実施している市町村数 22市町村 現状 女性の社会進出や働き方の多様化に伴い、保育ニーズも多様化している。特に近年は病児・病後児保育へのニーズが高まってきている。

県が関与 する理由

事業内容

県でなければ実施不可(その他) 県民との協働による実施: 困難

【左記の説明、根拠法令等】

国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である 保育対策等促進事業費補助金交付要綱及び同実施要綱

① 成果目標(H25)

病児・病後児保育実施市町村数 17市町村

② 事業内容 (単位:千円)

<ul><li>・ 事業的分</li></ul>					( -	半世・1 ロ/
項目	実施方法	7法 H25事業実績		Н	H26	
70,1	犬旭ガム			(当初)	(決算)	(当初)
1、特定保育事業	補助金	・週に2、3日程度又は午前か午後のみ必要に属 つ安定的な保育サービスを提供する事業への	171	0	184	
2、休日保育事業	補助金	・日曜、祝日等の休日において保育に欠ける児 保育所の開所に要する経費への補助	・日曜、祝日等の休日において保育に欠ける児童を保育する 保育所の開所に要する経費への補助			
3、病児·病後児保育事業	補助金	・地域の児童を対象に、病気中又は病気回復集所等に付設された専用スペースにおいて預かる 育中に体調不良となった児童を保育所の医務等 当日の緊急対応等を行う事業に係る経費への	77,660	77,732	86,340	
4、保育所分園推進事業	補助金	・認可保育所の設置が困難な地域において設 所の分園の運営等に係る経費への補助 ※過疎地域等における入所児童の減少等に	1,748	1,840	1,748	
5、認可外保育施設衛生·安 全対策事業	補助金	・認可外保育施設に従事する職員に対して健康 することにより、認可外保育施設における衛生・ る経費への補助	190	78	164	
6、保育環境改善等事業	補助金	・障害児の受け入れや、病児・病後児保育事業 対応型)に必要な改修、設備の整備等に係る経	293	222	897	
7、延長保育事業	補助金	・残業や通勤距離の遠距離化など保護者のニー 開所時間を越えて実施する延長保育に要する	220,359	210,602	224,951	
8、国庫返還金	直接	平成24年度国庫補助金精算に伴う一部返還		0	13,915	0
			合計	314,849	318,023	328,485

	즤	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
	祖		前年度繰越	0	0	0	0
			当初予算	324,447	326,691	314,849	328,485
事			補正予算			18,049	
業			合計(A)	324,447	326,691	332,898	328,485
*	~		国庫支出金	162,223	163,345	159,490	164,242
П	コ Aの 財源 ス		県 債	0	0	0	0
7		亰	その他()	0	0	0	0
^		一般財源		162,224	163,346	173,408	164,243
۲	決	決 算 額(B)		291,421	294,180	318,023	
	概 第			4.0	4.0	4.0	4.0
			概算人件費 (C)	33,032	33,032	33,032	33,032
	概算事業費(B(A)+C)			324,453	327,212	351,055	361,517
						,	

成果目標の達成状況					
項目	H24末 (実績)		H26		
快口		目標	成果	達成状況	目標
病児•病後児保育実 施市町村数	16	17	17	達成	18

目標に対 する成果 の状況

未実施の市町村へ出向き、事業の説明等積極的な働き掛けにより目標が達成できた。

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業	□ 事業を実施しない	□ 事業を見直して実施	■ 事業を現行どおり実施
をどのよう			
にしていき	近年ニーズが高まってきて	いる病児・病後児保育を中心に	こ、今後も市町村の要望に応じた支援を実施して参りたい。
たいか			